

(様式3) 目的設定表(令和04年度) 予算区分:通常 要求区分:令和4年度当初予算 確定日(令和04年03月18日)

事業コード	05030203			政策コード	05	政策名	誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略						
事業名	呼吸器疾患診療体制確保事業			施策コード	03	施策名	医療ニーズに対応した医療提供体制の整備						
				指標コード	02	施策目標(指標)名	高齢化に対応した医療体制の整備						
部局名	健康福祉部	課室名	医務薬事課		班名	調整・医療計画班		(tel)	1401	担当課長名	石井正人	担当者名	佐藤朋
評価対象事業(計画)の内容													
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 健康寿命日本一を目指す本県においては、加齢とともに増加傾向にある肺がんやCOPD(慢性閉塞性肺疾患)、誤嚥性肺炎等の呼吸器疾患に的確に対応できる診療体制の確保が大きな課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症等、新興感染症の診療や、県内で不足している結核病床を管理・運営できる呼吸器専門医が求められている。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 秋田大学に独立した講座を設置することにより、呼吸器内科医の安定的な確保・養成を図るとともに、常勤・非常勤派遣による地域医療現場への医師配置により、呼吸器疾患について2次医療圏毎の医療提供体制を確保する。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望								
					4. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 県、秋田大学 ②事業の対象者・団体 秋田県医師会、秋田大学、秋田大学医学生 ③達成のための手段 秋田大学呼吸器内科学講座へ、呼吸器内科医の養成について研究委託する。 ④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 県内において、秋田大学が唯一の医師養成機関であり、代替手段はない。								
2. 住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R03年05月) ②ニーズの把握の方法 ■ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ③ニーズの具体的内容 令和3年度「医師の充足状況調査」(対象: 県内66病院、基準日: 令和3年4月1日)によれば、呼吸器内科医の充足率は55.3%(全診療科平均81.4%)と、他の診療科と比べて低い水準となっている。													
◎把握していない場合の理由及び今後の方針													
①理由													
②今後の方針													
5. 事業の全体計画及び財源													
順位	事業内訳			左の説明			04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	全体(最終)計画
01	呼吸器疾患診療体制確保事業			医師不足が深刻な呼吸器内科医の養成に関する研究委託を行う。			13,361	13,361	13,361	0	0	0	40,083
財源内訳		左の説明				13,361	13,361	13,361	0	0	0	0	40,083
国庫補助金						0	0	0	0	0	0	0	0
県の債						0	0	0	0	0	0	0	0
その他						0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源						13,361	13,361	13,361	0	0	0	0	40,083

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		県内における呼吸器内科医の増加							
指標Ⅰ	指標名	呼吸器内科学講座入局者数						指標の種類	
	指標式	呼吸器内科学講座入局者数						○ 成果指標 ● 業績指標	
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	最終年度
	目標a		1	1	1	1	0	0	
	実績b	0	0	②データ等の出典					
	東 北	0	0	委託業務実績報告書					
	全 国	0	0						
	③把握する時期 ● 当該年度中 03 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月								
	指標名							指標の種類	
指標式							○ 成果指標 ○ 業績指標		
指標Ⅱ	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	②データ等の出典					
	東 北	0	0						
	全 国	0	0						
	③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月								

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	
住民ニーズに照らした事業の必要性	
事業の県関与の必要性	
健康寿命日本一に向けた取組や県民の安全・安心な暮らしを支える医療提供面での体制強化は県の責務である。	

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		○ 重点事業 ○ その他

確定日（令和04 年 03 月 18 日）

事業コード	05030205		政策コード	05	政 策 名	誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略							
事 業 名	高齢者医療先端研究センター支援事業			施策コード	03	施 策 名	医療ニーズに対応した医療提供体制の整備						
				指標コード	02	施策目標(指標)名	高齢化に対応した医療体制の整備						
部 局 名	健康福祉部	課 室 名	医務薬事課		班名	調整・医療計画班		(tel)	1401	担当課長名	石井正人	担当者名	佐藤朋
評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容											事業年度	令和04年度 ～ 令和06年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 全国一の高齢県である本県において、高齢者に特有の疾患である認知症、フレイル、肺炎、脳血管疾患への対応が健康寿命日本一を目指す上で大きな課題となっている。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 秋田大学の持つ人的資源を活用し、高齢者に特有の疾患に関する研究を通じて、医学的アプローチを含めた高齢者を地域で支える仕組みづくりを推進する。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望								
					4. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 県、秋田大学 ②事業の対象者・団体 秋田大学 ③達成のための手段 高齢者医療先端研究センターの運営を支援する。 ④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 医学的アプローチや地域社会学等、様々な見地から高齢者に特有の疾患についての研究を行う事ができるのは県内では秋田大学のみであり、代替手段はない。								
2. 住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期： R03 年 11 月) ②ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に													

